

平成26年度  
交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度交通局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

# 1 平成26年度交通局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成26年度交通局予算要求総括表

### 【交通事業会計】

平成26年度要求総額 2,937,989千円  
(平成25年度予算額 2,198,460千円)  
前年度比 +33.6%

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成26年度 予算要求額 A	平成25年度 予算額 B	増減 A-B
バス運行事業	2,772,201	2,044,377	727,824
バス車両 更新事業	79,092	76,950	2,142

## (2) 平成 26 年度交通局経営方針

交通局では、平成 23 年度から「北九州市営バス事業経営計画」（平成 23 年度～平成 27 年度）に取り組んでいます。経営計画では、以下の3つの基本的な取組方針に基づき、経営上の課題に対して、効果的な対応策を講ずることにより、地方公営企業として独立採算性を維持しつつ、市民の生活の足としての重要な役割を果たしていきます。

### ① 安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供

(方針)

- ◆安全な運行を確保し、安心・快適なサービスを提供するため、経営状況を見ながら、計画的に老朽化したバス車両の更新を行うとともに、利用者のさらなる利便性向上を図るため、定期的に、利用実態に即した効果的なダイヤ改正を実施します。

### ② 市民・地域と連携した事業の運営

(方針)

- ◆営業所・案内所に設置している「ご意見箱」等により、利用者のご意見・ご要望を常時聴取しながら、「交通局内部CS懇話会」（毎月1回）、「交通局外部CS懇話会」（年2回）等を通じ、積極的に事業運営に反映させていきます。

※CS：カスタマー・サティスファクション＝顧客満足

### ③ 健全な経営の維持

(方針)

- ◆経費削減への取り組みを継続するとともに、課題に対して効果的な対応策を講じ、健全な経営を維持していきます。

平成 26 年度は、

- ◆利用実態に即した効果的なダイヤ改正

- ◆若松北西部地域のバス路線の見直し

などの具体的な取組みを着実に実行していきます。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) 安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供

#### ① バス車両の更新 (3台) 79,092 千円

V-2・継続 ◆安全な運行を確保し、安心・快適なサービスを提供するため、経営状況を見ながら、計画的に老朽化したバス車両の更新を行います。

#### ② ダイヤ改正の実施

V-2・継続 ◆利用者のさらなる利便性向上を図るため、利用実態に即した効果的なダイヤ改正を実施します。

#### ③ バス待合環境の整備 3,086 千円

V-2・継続 ◆利用者が安心・快適にバスを待つことができるように、電照式(LED)バス停の設置を行います。

### (2) 市民・地域と連携した事業の運営

#### ① 利用者ニーズの把握充実

V-2・継続 ◆営業所・案内所に設置している「ご意見箱」等により、利用者のご意見・ご要望を常時聴取しながら、「交通局内部CS懇話会」(毎月1回)、「交通局外部CS懇話会」(年2回)等を通じ、積極的に事業運営に反映させていきます。

### (3) 健全な経営の維持

#### ① 運賃体系の見直し

V-2・継続 ◆平成26年4月の消費税率8%実施に伴う運賃改定(増税分の転嫁)について、検討していきます。

#### ② バス路線の見直し

V-2・継続 ◆地方公営企業として独立採算性を求められる以上、現在の事業環境では、不採算路線の維持には限界があります。このため、若松北西部地域のうち、まず①「岩屋・蟹住～学研都市北口」において、地域巡回型バスのモデル運行を行います。さらに、②「岩屋・脇田～畠田」、③「脇田・脇ノ浦～小石」での運行開始に向け、関係者との協議を進めていきます。

#### ③ 路線維持に係る費用負担の明確化

V-2・継続 ◆通学支援便や響灘臨海工業団地通勤便の運行に係る経費負担など事業のあり方について、引き続き関係部局との協議を進めていきます。

④ 人材の育成（正規職員の採用）

V-2・継続◆運行管理に関するノウハウを蓄積し、将来の運行管理部門を担う人材を育成していくため、経営状況を見ながら、計画的に正規運転者等の採用を行います。